

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・前期・A群
	対象学科・専攻	電気電子工学科
情報処理 (Information Processing I)	担当教員	前園正宜 (Maezono, Masaki)
	教員室	電気電子工学科棟1階(Tel. 42-9071)
	E-Mail	maezono@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 15回	
〔本科目の目標〕 本科目では、様々なソフトウェアの開発に利用されているプログラミング言語、C言語を修得する。文法の理解を目標とする。		
〔本科目の位置付け〕 情報端末の基本的取り扱いができることを前提とする。本科目は2年次後期の「情報処理」、3年次の「情報処理」、4年次の「情報処理」、5年次の「情報処理」の基礎となる。		
〔学習上の留意点〕 プログラミングは、どれだけ多くのプログラムを作成したかによって、上達のスピードが変化する。そのため、本科目は例題、演習を主体となる。学生諸君には積極的に課題に取り組む姿勢をもってもらいたい。疑問が生じた場合は直ちに質問し、理解を深めることを要望する。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. プログラミングの概要	2	・ プログラミングの概要やプログラムとは何かを理解できる。
2. プログラム実行までの手順	4	・ エディタを用いてソースファイルを作成し、コンパイルして実行することができる。 ・ フローチャートの記号を理解し、処理の流れをフローチャートで記述できる。
3. 簡単な出力	6	・ 最小構成のプログラムの書式や命令の実行順、基本書式を理解できる。 ・ printfの書式を理解し、画面への表示ができる。 ・ 加減乗除(*, /, +, -)と剰余(%)を適切に使用することができる。
--- 前期中間試験 ---	2	授業項目1~3について達成度を確認する。
4. 変数と代入	6	・ 文字型、整数型、浮動小数点数型のデータを理解できる。 ・ 変数と定数、記号定数の取り扱い理解できる。 ・ C言語の「=」は代入を表し、等しいことを意味しないことを理解できる。
5. 入力	4	・ scanfの書式を理解し、キーボードからの入力を行うことができる。 ・ 文字入力を行う上で、空白文字の除去、\nの問題を理解できる。
6. 分岐構造	6	・ if文を用いて、条件が成り立てば実行するという条件分岐の考え方を理解できる。 ・ 関係演算子、等値演算子、論理演算子を正しく扱うことができる。 ・ 条件式の真と偽を理解できる。 ・ if~else~の形式を用いた場合、条件が成り立つか否かで、実行される内容が異なることを理解できる。 ・ if文の入れ子構造を理解し、ifとelseの対応を理解することができる。
--- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説		授業項目1~6について達成度を確認する 各試験において間違った部分を理解出来る
〔教科書〕 「新版 明解C言語 入門編」 柴田望洋 ソフトバンククリエイティブ		
〔参考書・補助教材〕 適宜プリントを配布する		
〔成績評価の基準〕 中間及び期末試験成績(70%) + 小テスト・レポート(30%) - 授業態度(上限15%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		